

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。

そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

Instagram でも毎週金曜に「教材発行しました」のお知らせを出しているの、フォローしていただければ幸いです。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方

- 1) この教材は、コピーをして、何枚でも生徒さんたちに配布して授業のために活用してください。
- 2) Zoom などを活用したオンライン授業で、教材を画面に映して授業をしていただくことも、歓迎いたします。
- 3) 動画は、ご自由に授業でお使いください。中学生・高校生の音声ファイル（有料）は、生徒さんたちにリンクを送ってご活用ください。
- 4) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きなように加工してください。不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- 5) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に、難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由にアレンジして下さい。
- 6) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。大変お手数ですが、もしミスに気付かれたら教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- 7) 全ての教材に暗唱文（重要文法、使える表現を含むキーセンテンス3文）を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読し暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021 年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げて暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、ご活用下さい。

参考にした英語記事

<https://spice.fsi.stanford.edu/news/instruments-beating-heart-film-ema-ryan-yamazaki>

<https://www.instagram.com/emaexplorations/p/DDs8Etjy7Gh/?hl=en>

<https://deadline.com/2024/12/instruments-of-a-beating-heart-director-ema-ryan-yamazaki-interview-1236191698/>

<https://www.yahoo.com/entertainment/director-ema-ryan-yamazaki-her-233829499.html>

<https://www.nytimes.com/2024/04/05/world/asia/japan-documentary-films-ema-ryan-yamazaki.html>

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/shows/3025202/>

<https://www.kcrw.com/news/shows/press-play-with-madeleine-brand/rain-trump-oscars/instruments-beating-heart>

<https://press.oscars.org/news/97th-oscars-shortlists-10-award-categories-announced>

イラスト

<https://www.fumira.jp/cut/kodomo/file843.htm>

[https://www.ac-](https://www.ac-illustr.com/main/search_result.php?word=%E8%BC%AA%E9%83%AD&search_word=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E4%BC%9A+%E5%AD%90%E4%BE%9B&page=0)

[illustr.com/main/search_result.php?word=%E8%BC%AA%E9%83%AD&search_word=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E4%BC%9A+%E5%AD%90%E4%BE%9B&page=0](https://www.ac-illustr.com/main/search_result.php?word=%E8%BC%AA%E9%83%AD&search_word=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E4%BC%9A+%E5%AD%90%E4%BE%9B&page=0)

0. 低学年用 英語ニュース

★低学年用のニュース教材は、ニュースに関心のありそうな低学年（小学３年生以下）の生徒さんや、

「時間がないので、正規の小学生教材を要約したものを使いたい」という場合にお使いください。

★１ページ目には易しい設問をつけているので、「英語でニュースを勉強できた!」という知的好奇心を満たしたり、

「質問の答えを、英語で書けた!」という達成感を、生徒さんたちに持ってほしいです。

★対象年齢の目安

● １ページ・・・小学３年生～英語を習いたての５・６年生など（普通の小学生教材が長くて難しそうな生徒さん）

● ２ページ・・・小学１～３年生、園児さん（ニュースに高い関心を持っている小さいお子さん）

１ページ

Q1 （オーケストラ）を作って（ベートーベン）の交響曲を演奏する

Q2 父（イギリス）／母（日本）

Q3 serve lunch(給食の配膳をする), clean classrooms(教室の掃除をする)

Q4 ★道路について（清潔・きれい） ★電車について（時間通りに来る）

Q5 ●I like school lunch better. It is yummy.

●I like bento better.

●I like both. など

Q6 解答例: I like my teachers. / I like school lunch. / I like the swimming pool. / I like the library.

など、自分の小学校の好きな所を自由に書いて発表しましょう。

２ページ

✿ 自分の小学校の名前を英語で書いて、発表しましょう。

✿ 自分の学年を英語で書いて、発表しましょう。

✿ 好きな科目を英語で書いて、発表しましょう。

✿ 学校で好きなものに☑をつけ、“I like ~.” の形で発表しましょう。

1. 小学生用 英語ニュース

※「小学生用」という名前の教材ですが、中学生、高校生、社会人の授業の、短い ice break の読み物としてもおすすめです。（「中学生用教材」は、中２・中３を対象に作成しているため、少し文が長くて難しめです）

１ページ

Q1 the (Academy) Award

Q2 （オーケストラ）を作って（ベートーベン）の交響曲を演奏する

Q3 父（イギリス）／母（日本）

Q4 ●You are always on time. ／あなたはいつも時間を守るね。

●You work well in a team. ／あなたはチームの中でよく頑張っているね。（＝協調性があるね）

２ページ

Q5 teamwork, responsibility

Q6 serve lunch(給食の配膳をする), clean classrooms(教室の掃除をする)

Q7 ★道路について（清潔・きれい） ★電車について（時間通りに来る）

Q8 解答例 ※小学生は日本語で議論しても良いと思います。

① I like school lunch better. I have two reasons. First, it is fresh and warm when we eat it. Second, making a bento is hard for parents. School lunch is easier for families.

② I like handmade bento better. I have two reasons. First, it's made with love by my family.

Second, every child has different favorite foods and nutrition needs, and bento can be customized just for me.

Q6 解答例: I like my teachers. / I like school lunch. / I like the swimming pool. / I like the library.
など、自分の小学校の好きな所を自由に書いて発表しましょう。

指導の手引き

日本で教育を受けた多くの人々は、「給食当番」や「教室掃除」を、何気ない日常の一部として捉えているかもしれませんが。しかし、これらは日本の小学校では当たり前のことですが、世界中の人々には驚きと称賛をもって受け入れられています。

例えば、サッカーのワールドカップなどでは、試合後に日本人サポーターたちがゴミ拾いをしている光景が、世界中で尊敬を集め、ソーシャルメディアでその写真や動画が拡散されることもあります。こうした日本人の礼儀正しさが、「小学校の教育から来ている」と映画監督の山崎エマさんは考えているそうです。

山崎さんが東京の小学校で撮影したドキュメンタリー映画が、世界で評価され、アメリカのアカデミー賞にノミネートされたことを、とても誇らしく思います。

私自身の経験をお話しします。香港で子育てをしているオーストラリア人の友人がいます。彼女は日本人の男性と結婚しており、2歳の娘さんの教育について「日本の小学校」と「英語で教育を行うインターナショナルスクール」のどちらが良いか、悩んでいるとのこと。「Yuki, あなたはどう思う?」とメールで相談されました。

私は「日本の小学校の一番素晴らしいところは、生徒が毎日教室を掃除することだと思う」と返信しました。

すると友人は、“Wow! Do students clean the classroom in Japanese schools? It’s amazing!! I want my daughter to go to a Japanese school in Hong Kong!!”と驚き、感心してくれました。

また、日本の小学校で英語を教えているアメリカ人の友人も、掃除をすることについて “definitely good”と賛同していました。

このように、教室掃除の習慣は海外でも非常に好評です。もちろん、子供たちが配膳をする給食制度や、避難訓練が教育の中に組み込まれていることなども、素晴らしいと思います。日本の小学校で学んでいる皆さんには、自分が受けている教育に誇りを持ってほしいです。